

流通と S C ・ 私の視点

2020 年 9 月 17 日

視点 (2354)

世界的及び日本的異次元経済におけるコロナショックの位置づけ(その2)!!

(流通経済編)

(流通と S C ・ 私の視点 2353 より続く)

以上の世界的な大変革とは別に、日本の独自の大変革が日本の経済・社会・消費・生活に大きな影響を与えた出来事が起こり、その内容を示すと次の通りです。

経済ショック	基軸年度	内 容
所得倍増計画	1960 年	①戦前並に復興(1955 年)した日本の経済をさらに躍進させるための池田勇人内閣の経済政策 ②1961 年から 10 年間で実質国民所得を2倍にして、国民の生活向上を目指す ③所得倍増計画により日本の国民の生活は向上し、新しくモノを買うことに喜びを感じる消費経済が確立し、高度成長の根源となる
日本列島改造論	1972 年	①都市と地方の経済格差を是正するための田中角栄内閣が掲げた政策綱領 ②工場の再配置や交通・情報・通信の全国ネットワーク化(新幹線・高速道路・通信網拡大など)することにより、大都市と地方都市の格差の是正計画 ③結果的に、全国的な不動産の高騰による不動産バブル化して多くの課題を残す
プラザ合意と日本型バブル崩壊	1985 年(プラザ合意) 1991 年(バブル崩壊)	①1985 年のプラザ合意により円高(輸出削減)振興策による内需型経済の促進政策 ②内需促進による金融緩和により、不動産及び証券バブルが発生する ③不動産バブルの沈静化のため急激なダブル金融規制(金利上げと総量規制)により、日本経済のバブルが崩壊して、その後、企業及び個人への過剰融資は金融上の課題を残し、その後の日本経済の失われた 25 年(1996~2015 年)を招くことになる
アベノミクス	2013 年	①日本経済の失われた 25 年から脱皮して、日本経済を再建させる安倍晋三内閣の経済政策 ②大胆な金融政策、機動的な財政政策及び民間投資を喚起させる成長戦略の三本の矢から成る ③日本経済のデフレ経済と閉塞感からの脱却は成功し、企業業績の回復や株高・不動産高・雇用環境は、改善は起こったが経済成長は十分ではなかった

世界に影響を与えた経済上の大変革と日本経済独自の大変革は「起こる前」と「起こった後」に経済・社会・消費・生活に大きな影響を与え、今までの常態が通用なくなり、起こる前と異なる新常态が起こりました。このような新常态化は、次の発展や改新へのベクトルともなります。

コロナショックは過去の延長線上ではない大変革が起こり、日本の経済・社会・消費・生活上に新たな概念が新常态化し、今後、流通業界において次世代という概念のビジネスモデルが積極的に構築されます。コロナショックは、リーマンショック(2008 年)を上回り、世界大恐慌(1929 年)に匹敵あるいは上回る大変動と言われています。同時に、S C は飽和期を迎えており、S C のオーバーストア現象と S C の多様化が起こります。特に、E コマースに対応したネットネイティブ S C が新業態として出現します。

(株)ダイナミックマーケティング社⁺

代 表 六 車 秀 之